



岡山県立岡山東商業高等学校

同窓会会報
(翠光会)

第10号 令和5年2月15日発行

岡山県立岡山東商業高等学校同窓会
http://www.dosokai.ne.jp/higashisho/

TEL・FAX 086-271-3636

デザイン・印刷 株式会社サラト

題字 東商12期 有瀬加子(芳心)



— 野球部国体優勝への軌跡 —

今から50年前といえば半世紀前のことになりますが、同窓生の皆さんはご存知の通り1971年(昭和46年)10月に和歌山県で開催された第26回秋季国体において母校野球部が全国優勝を果たしました。本来はこの記念の年は2021年(令和3年)になるのですが、近年のコロナ禍の中で同窓会総会も中止としましたので一年延期しての昨年の開催となりました。

戦績としては、1回戦/普天間(10-3)・2回戦/市和歌山(4-1)・3回戦/磐城(6-5)で勝ち進み、決勝戦で報徳学園を(5-4)で下して見事優勝!この国体優勝50周年を記念して同窓会記念行事として、当時の監督(向井正剛さま)をお迎えして当時の場面を振り返るトークショーを企画開催しました。

夏の甲子園ベスト4入りしてから国体優勝までの戦績はスライドショーによって紹介されその実力と勢いをもって挑んだ秋季国体優勝当時のメンバーの23期メンバーをはじめとしてその時のバックを支えてきた、24期・

25期の後輩たちも加わって思い出話や裏話(?)なども飛び出して、当時の向井監督の意外な選手起用術の秘話や柔軟な発想に富んだ作戦に改めてあの時の、緊張感と集中力を感じ取ることができました。

また、個性派ぞろいのメンバーの最後を締めたのは、日頃の地道な練習から得られた成果以外に何物でもないという無言の証であったのは言うまでもありません。

女性の司会による、向井元監督と選手たちへの掛け合いにより今だから聞けるあの時の心境など貴重な話を聞き出すことができ、とても面白く楽しい時間を参加戴いた皆さんで過ごすことができました。最後に印象的だったのは向井元監督の「技術もマナーも日本一を目指してやって来た。野球を通じての人格形成の道でもあった」とおっしゃった言葉が印象的でした。この輝かしい活躍は母校の榮譽として永く後世まで語り継がれなくてはならないと思います。

